



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-525-5232
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
http://www.biwa.ne.jp/ffs/
E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

快適職場のつくり方 産業医が見た職場の実態

金融労連第6回 春闘討論集会

11月26・27日静岡岡熱海市に於いて金融労連主催の第6回春闘討論集会が開催され54名が参加し、単組からは中島委員長と小原書記長が参加しました。1日目は産業衛生コンサルタント・産業医の阿部眞雄医師が「快適職場のつくり方・産業医が見た職場の実態」をテーマに講演が行われ、つづいて田畑書記長から「2012年春闘方針案・骨子」について報告されました。2日目は講演・問題提起を受けて分散会を行いました。その後の全体討論で来春闘のたたかう決意を確認しました。

メンタル不全是 心の骨折

産業医師の講演で、職場の健康管理では、特にメンタル不全、うつ病が増加し、心の風邪といわれているが、実際は心の骨折といえる。風邪は回復すれば仕事が出来ることが骨折すれば、すぐに適応できない、企業の復帰後の支援体制は必須である、労働安全委員会と産業医の連携で予防、治療を行うことが大切と述べられた。



成果主義は個人労働
孤立労働からうつ病に

成果ばかりを求める個人労働から孤立労働が孤立労働となり、うつ病に進むことも多い。滋賀銀行にも常に数名のメンタル不全の方が

職場の声

ポナス減らない？

パートさんの間で、新しい人事制度になってポナスにメリット入って「最高のメリットなんか絶対もらえないから給料が下がるのでは」と心配の声を聞いています。

公平な仕事の配分を！

今パートさんの中で仕事の量に差があり過ぎますと不満があります。指示

おられ組合としての取り組みを進めたい。分散会での発言としてハワハラ・成果主義の矛盾・メンタル不全を中心に時間外の不払い・休暇取得・人事制度・必要のない資格取得・再雇用問題・組織拡大などについて単組の実態から熱心に討議されました。また、組合への攻撃や、経営に対してはつきりものが言える組合にしたいという声もありました。

滋賀県母親大会に 1300人つどう！ 先輩組合員7人参加



10月30日、近江八幡市の八幡小学校で第57回滋賀県母親大会が開催され、1300人が参加され、先輩組合員7名が参加しました。午後の全体会で立命館大学国際平和ミュージアムの安斎育郎名誉館長が講演をされました。

美浜原発を 視察して

澤井 正

11月18日琵琶湖から20kmにある美浜原発の視察に参加しました。

午前中、若狭の明通寺住職で原発設置反対小浜市民の会の中島哲演氏の話が聞きました。安全神話が金の力で動いたと具体的に数字で示され、原爆は地球上のすべての生

物の生きる権利を奪ってしまつて話されました。「一口以内には断層があるのは、世界で福井・若狭原発のみ」事故が起これば、人間は放射能の放出を押さえ技術を持っていない「つくられた」死の灰を人間は無毒にする手段を持たない」と話されました。また、今自分の生活を豊かにするために、無能な人間が千年も万年の

先の子・孫に迷惑をかける愚かなことはすべきでない。原発エネルギーは使わばいいと手を合わせ訴えられました。翌日、京都北都信産従業員組合の定期大会に参加しました。小浜線で揺られ高浜・大飯原発をとり、舞鶴入りしましたが、20km以内でありにも近いのに驚き、大会で「組合運動は労働強化に反対し生活と権利を守り、誰も平等に生きるため、脱原発運動も、平和

と環境を守り、みんなが平等に生活でき、生きる権利を守る」と平和運動と組合運動は共通し大切であると発言しました。



安斉氏は「福島第一発電所をコンクリート詰めにして石棺状態にするには50年かかる。我々は今後何十年も放射能の向き合ひながら生きていかなければならぬ。・・・私は事故当事者に「隠すな、嘘つくな、意図的に過小評価するな」と言い続けてきたが、皆さんからも言い続けて欲しい。」と語られました。